

## 佐野短期大学シラバス2014

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
請求実務演習 II Medical coding II		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	演習	選択	(医療事務技能審査試験対策)	メディカルクラークユニットを履修している学生
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
介護保険実務論・介護保険請求実務				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
医療情報処理演習、基礎医学・臨床医学科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
古川 貴子	本館2階	火・水・木・金の9時から16時(授業時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
請求実務演習 I の学習を確認するとともに、①外来及び入院レセプト作成、②支払基金・国保連合会への請求業務、③公費医療制度を中心に学習する。				
授業の目標				
請求実務のスキルアップを目指し、 ①DPC・電子カルテに必要な知識が身につくようにする。 ②診療科ごとに対応できるように算定全般を理解し、レセプトが点検できるようにする。 ③医療事務技能審査試験に合格できるようにする。				
授業の方法				
演習問題を中心に様々な診療科の事例を検討しながら、正しいレセプト点検を行うことができるようにする。				
学習の成果(学習成果)				
①診療報酬点数表を読みこなすことができる。 ②公費負担医療制度について説明できる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	外来と入院料について(ガイダンス)			
第2回目	入院料 ① (初診料・緊急入院算定と記載)			
第3回目	入院料 ② (投薬と注射)			
第4回目	入院料 ③ (処置と手術)			
第5回目	入院料 ④ (検査と画像診断)			
第6回目	入院料 ⑤ (リハビリ・その他)			

第7回目	食事療養費		
第8回目	演習問題 I		
第9回目	演習問題 II		
第10回目	演習問題 III		
第11回目	医療事務技能検定対策 ①		
第12回目	医療事務技能検定対策 ②		
第13回目	医療事務技能検定対策 ③		
第14回目	請求業務の実際 (診療所)		
第15回目	請求業務の実際 (病院)		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
	授業参加態度	20%	出された課題に集中して取り組んでいる。不明な点があれば積極的に質問している。
	レポート		
	調査報告書		
	小テスト	20%	授業の進捗に合わせて随時確認テストを行い、理解度に応じて評価する。
	試験	40%	授業の到達目標に掲げた項目の理解度に応じて評価する。
	発表内容(態度含む)		
	その他	20%	検定の可否で加点する。
教科書と参考図書			
診療報酬早見表(医学通信社) 医療事務医科テキスト1~4(ニチイ学館) 医療事務医科スタディブック1~3(ニチイ学館) 医療事務医科ハンドブック(ニチイ学館)			
履修上の留意点・ルール			
請求実務演習 I を履修していること。 メディカルクラークを受験する場合は必ず履修すること。 電卓を必ず用意すること。			